



志岐高便り

第175号

発行責任者
平山 啓一



携帯
サイトへ

長崎県立志岐高等学校

長崎県志岐市郷ノ浦町片原触88

[TEL]0920-47-0081

[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

巻頭言



「何もなかった1年にはしない」

教頭 寺田 五男



新型コロナウイルス感染拡大の影響で、県高総体、夏の甲子園大会、秋の全日本吹奏楽コンクール等が中止となりました。そんな中、朝日新聞の次の記事に目が留まりました。

「習志野高校吹奏楽部は、全国大会出場33回を数える名門校。演奏は「習高（ならこう）サウンド」と呼ばれ、学校外にもファンは多い。野球部が出場した昨年春の選抜大会では、「美爆音」と呼ばれる迫力ある演奏を甲子園に響かせ、準優勝を後押しした。部員数は2、3年生で計132人。・・・中略。再開後は顧問や部員たちと話し合い、部として何ができるか、話し合いたい。「何もなかった1年にはしない」。」

この部員たちの強い気持ちに、胸を打たれました。今、私たちの生活様式はもちろん、生き方や考え方について変化が求められています。このような予測不能な社会に対して、私たちはどうしたらよいのでしょうか。

1 Society5.0で未来を創る君たちへ

現代の日本は、人口減少、少子高齢化、急速なグローバル化や人工知能等の技術革新等が進展する中、人生100年時代、さらにはSociety5.0という新しい時代が到来しつつあります。Society5.0とは国が提唱している未来社会のコンセプトで、Society1.0（狩猟社会）、Society2.0（農耕社会）、Society3.0（工業社会）、Society4.0（現代の情報社会）からさらに進展し、これから訪れる「経済発展と社会的課題の解決を両立する超スマート社会」と言われています。要するに、AIやロボットが今まで人間が行ってきた作業を代行したり、必要な情報が必要な時に提供されたりするなど、現在とは大きく変化した社会です。そうすると、現在の職業構造も大きく変わっていくはずで。

どのような環境に置かれても、主体的な姿勢でしっかりと歩んでいける人、試練を乗り越えるたくましい人、周りから信頼され慕われる人であってほしいと願います。そういう大きな視点を心に持ちながら、日々の学習、部活動、学校行事にしっかりと取り組むことで、将来必要な様々な力を培っていけると思います。

2 よく考える、自分の時間を持つ

2018年ノーベル医学・生理学賞を受賞した本庶佑氏の受賞インタビューで、「『ネイチャー』や『サイエンス』という著名な科学雑誌でも9割は嘘で、10年後に残っているものは1割だと思う。知りたいと思うこと、不思議だと思う心を大切にすること、教科書に書いてあることを信じないこと、常に疑問を持って本当はどうなっているのだろうと自分の目でものを見る。そして、納得するまで諦めない。」これは、あくまで「自分の目」で確かめて納得することの大切さを重んじる本庶氏らしいメッセージです。ネット等で情報を得ることも必要ですが、ネットから離れて、じっくり本を読んだり、考えたりする「自分の時間」を持ちましょう。志岐高校の図書館お勧めです。

第 3 学 年 よ り

先日、高総体の中止が決まりました。また、多くの文化部の大会も中止が発表されました。その他の活動も中止が検討されています。最後の大会に向けて、全力で部活動に励んできた73回生のことを考えると、かける言葉が見つかりません。学年主任として、皆さんが高総体という夢の舞台を経験できないことは本当に残念です。最後の大会がなく、多くの73回生の皆さんがショックを受けていることでしょう。

しかし、皆さんが仲間とともに目標に向かって励んだ時間は、決して無駄ではなく、かけがえのないものです。部活動の中でさまざまな人と出会い、成長し、信頼できる大切な仲間を作ることができたのではないのでしょうか。

73回生の皆さん、辛いとは思いますが、今は気持ちを切り替え、前を向くときです。皆さんは今年度受験生です。将来を見据え、これからやるべきことを考え、懸命に全力で頑張りましょう。我々も君たちの頑張りを全力でサポートします。3学年団一丸となって、進路実現に向けてともに歩いていきましょう。



第 2 学 年 よ り

学校での教育活動が再開され、ホームルームや授業、部活動などの場面で2学年の生徒の皆さんと共に学校生活を送ることができることの有難さを実感しています。

先月号では進路実現の3つのキーワードについて触れました。学力の育成については、授業の充実に加え、国語の漢字コンテストや英語のスプリングコンテストでチームを組み、刺激し合うと共に楽しんで学習する雰囲気を作っています。生活習慣については、容儀の再検査対象生徒が27名でしたので、気の緩みがないようにもう一度自分の生活習慣を見直してほしいと思います。

さて、先日の学年通信でもお伝えしました

が、普通コース（1～4組）は3年次にコース選択があります。学校では担任を中心に面談を行っております。進路を見つめ、深める機会をとっていきます。保護者の皆様におかれましては、7月の三者面談に向けて、家庭での話し合いをお願いします。

Survive
the New Epoch



第 1 学 年 よ り

いよいよ通常日程が始まり、新入生である75回生にとって、5月7日（木）より本格的な高校生活となりました。その準備段階として、新入生校内研修を実施しました。中学校と高校の違いや、学校生活での様々なルールを知り、授業に対する姿勢などについて説明を受け、吉崎高生としての心構えが整ったと思います。部活動も始まり、学業との両立が期待されます。進路学習の一環として6月13日（土）に文理選択説明会、ならびに進路講演会を実施します。これは普通コースの文理選択、東アジアコースの専攻選択の一助とするものです。保護者の皆さまにもご来校いただき、お子様と一緒に進路について考えていただければ幸いです。学校では進路情報サイトの紹介や、冊子の配布などを行っております。5月末には文理選択についての予備調査を実施します。進路選択へ向けて、ご家庭での話し合いを入念に進めていただきますよう、ご支援宜しくお願い致します。



文化部も頑張っています（科学部）

壱岐高Topics!

「学校再開」

長期に渡った臨時休業期間でしたが、5月7～8日を臨時登校日とし、11日から本格的に平常日程で再開することができました。情報機器が普及している昨今ですが、やはり直接顔を合わせて過ごす時間は価値のあるものと再認識しました。また、3密を回避しながらも部活動を再開し久しぶりに仲間と汗を流しました。



「生徒総会」

5月21日(木)生徒総会が行われました。現在の状況を鑑み、初めて遠隔での実施を試みました。「Zoom」というソフトウェアを使用して、放送室と各教室や体育館を繋ぎました。生徒会総務委員や各種委員長が、プレゼンテーションソフトを活用しながら今年度の方針を報告しました。



6月行事予定 ①1年 ②2年 ③3年

※5月28日現在

1	月	心電図①
2	火	
3	水	歯科検診①②③
4	木	運動部・文化部引退式
5	金	
6	土	
7	日	(授業日) 両校戦・部内戦・応援・自学・島外試合
8	月	【代休6/7】
9	火	学年集会③
10	水	放課後自学③
11	木	放課後補習開始③
12	金	生徒会役員選挙立候補者締切 就職希望者保護者集会③
13	土	進研マーク③ ★② 第2回就職模試(実教) 公務員セミナー 第1回高看模試(さんぼう)③ 文理選択説明会①(生徒・保護者)
14	日	進研マーク(5教科)③
15	月	内科検診① 体育部主将会
16	火	生徒会役員選挙立候補者公示
17	水	内科検診①
18	木	
19	金	生徒会選挙立会演説会・投票 胸部レントゲン
20	土	県一斉③ 第3回公務員模試(実教)③ GTEC①②
21	日	
22	月	
23	火	考查時間割発表・部活動休止(~7/1) 生徒会役員当選者公示 6・7校時：総探講演会
24	水	
25	木	生徒会役員任命式 LHR：命に関する講話
26	金	
27	土	学校開放
28	日	中国語検定②③
29	月	
30	火	期末考查

各分掌から

生徒支援部より

2点お伝えしたいことがあります。1点目は「乗り降り禁止区域・登下校時の交通マナーの遵守」です。「愛される吉岐高・応援される吉岐高」であるために、道路を広がって歩かない、許可された場所で乗り降りするなどのルールの確認を再度ご家庭でもお願いいたします。2点目は「衣替え」についてです。本校では自己の体調管理に努める目的で「衣替え」の指示をしておりません。以下のことに注意し、各自の体調に合わせて「衣替え」をしてください。夏服の場合、男子の下着は白（ワンポイントまで可）です。女子はブラウスの下に必ず下着を着用して下さい。色はグレー、ベージュ、白（いずれも無地）です。体操服は、衛生面から下着としての着用は不可としています。

ご理解・ご協力のほどよろしくお願ひします。



放課後、廊下で自主的に補習を受ける様子。学びたいと思ったそこが教室です！ →

進路支援部より

今年度から全学年の生徒がキャリア教育の一環として「キャリア・パスポート」を作成することとなりました。これは日々の学習だけでなく、学級活動や部活動・地域での活動など様々な経験について、目標を立て、自分で考えて取り組み、結果を振り返ります。そこで自己評価することで、自分の生き方や進路について主体的に考える姿勢を養い、新たな気づきや成長に繋げるといふものです。この記録をもとに教師と対話したり、生徒同士で話し合ったりすることは、自らの長所や興味関心などについて、多面的・多角的に理解を深めることに繋がります。また、自分が伸ばしたい能力について考えることで、毎日の生活や活動の目標を見いだすとともに、自分が社会の中でどのような役割を果たしたいのかについて考えることができ、人生の見通しを立てることに繋がります。

グローバル化や情報通信の発達により世界情勢が大きく変化する中、自らの力で未来を切り開くために、また、自己の確かな成長の記録として、キャリア・パスポートを作成・活用していきましょう。

東アジア歴史・中国語 コース

世の中を席捲しているコロナウィルスによって大変な日々が続いていますが、コースにおいても、毎年上海外国語大学からお越し頂いている中国人講師の先生がまだ入国できないという状況が続いています。そのような中、長崎県立大学と遠隔機器で繋いで中国人講師の周国強先生に中国語の授業のサポートをして頂いています。また北京外国語大学に進学している本校卒業68回生の土谷



～Shane先生コラム～

Because of the new coronavirus, I have not left the island in three months. This is the longest amount of time that I have stayed on Iki. But finally, classes have returned. This school year seems promising. Everybody is excited to see each other. The new first grade has a willingness to learn. For that, I have to say thank you! During this spring season, please take advantage of the nice weather. Take a walk outside or in one of the many great parks in Iki. My favorites are Shoni Park, Komakizaki, and Aoshima. I will be skating around Iki on every sunny day. If you see me, please stop and say hello! Thank you.